



あなたと
NOSAIをつなぐ
かけはし



特集 P3-5
受け継がれる
農の逸品

備えの種をまこう。

P2 年頭のごあいさつ

P6-7 水稲共済
営農状況に合わせてご加入ください

P8-9 収入保険
収入保険が収入減をサポート
加入者の声

P10 園芸施設共済
冬の大雪 春の嵐に備えを

P11 建物共済
冬の落雷にご用心

P12-13 地域の話
わがまちこの人

P14-15
NOSAIからのお知らせ

安心のネットワーク
NOSAI
石川県農業共済組合

新年
2023
Vol.32

農業共済新聞購読者募集中 年間購読料は5,520円です

令和5年 年頭のごあいさつ

組合長理事 田中 肇



新年明けまして
おめでとうございます。

組合員の皆様にはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃より農業保険事業の運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年も全国的に猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢は、制限的な措置から経済の回復に重点を置かれていきます。しかしながら、ウクライナ情勢に伴う、原油または肥料や飼料価格の高騰等、農業経営には厳しい状況であります。

石川県では令和4年6月に能登半島を震源とする地震が発生しました。また、8月の石川県内の記録的大雨による

被害は激甚災害に指定され、水稲と大豆は収量減や品質低下に伴う収入減少見込みとなり、ハウス内農作物や住宅等にも被害がおよびました。9月の連続した台風通過に伴う、ハウス本体被害も記憶に新しいところです。

今年で5年目となる収入保険では、本県においても加入者が年々増加しています。新型コロナウイルス関連における先行きの不安や予測できない大規模な自然災害に対する備えとして、農業者の皆様に入収入保険が選ばれています。また、昨年より県下6市町から保険料等の一部が助成されるようになりました。

組合では収入保険事業と農業共済事業の両事業で、農業経営のセーフティネットとしての役割を果たすため、役員一同、引き続き積極的に推進に努めてまいります。

最後になりましたが、本県農業と組合員の皆様にとりまして実り多い一年となりますよう祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。



謹賀新年

組合長理事	田中 肇
副組合長理事	東元 勉
専務理事	南 範彰
理事	大宮 正
理事	河原東洋史
理事	山出 吉栄
理事	山口 英夫
理事	山本 惠三
理事	通 政美
理事	田原 信一
理事	北尾 利昭
理事	糺田 幸雄
理事	中村 真一
理事	中川 勝典
代表監事	向 正則
監事	中島 宗満
監事	土谷 治
職員一同	

表彰

農業災害補償制度施行
75周年記念表彰

永年勤続NOSAI
基礎組織関係者表彰

(敬称略)

加賀市	東 勇夫
小松市	室 耕一
白山市	島田 尊司
内灘町	広瀬 武志
羽咋市	中野 専一
輪島市	山岸 正臣

令和4年度農業共済功績者表彰

(敬称略)

組合長理事	田中 肇
-------	------

新年号特集



受け継がれる

農の逸品

今回の特集では県内のさまざまな地域で古くから栽培され、地元の人に親しまれている農産物に注目しました。作り手の農家の皆さんに教えていただいた農産物の歴史や栽培に対する熱い思いを紹介します。

・国造ゆず



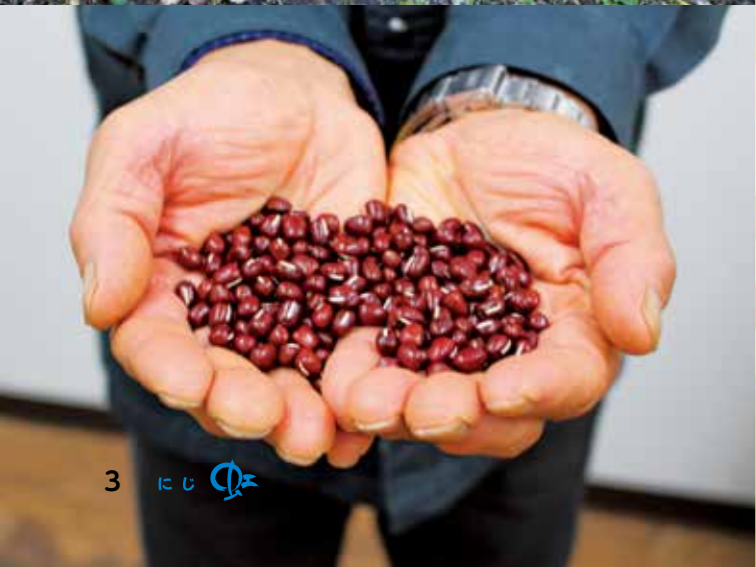
・源助大根



・沢野ごぼう



・能登大納言



素材を生かしたおいしい食べ方を
伺って、作ってみました。
詳しくは次のページへ!



企画広報課
地家

受け継がれる 農の逸品

国造ゆず

能美市三ツ口町
塚田 良三さん (85歳)

アロマオイルを開発中です



国造地区では昔から庭先にゆずを植える習慣がありました。地域の特産品化を目指してゆず団地が整備されたのは昭和60年のことです。兼業で米作りをしていましたが、幼い頃に食べたゆず味噌のおいしさが忘れられず、定年退職を機に栽培を始めました。現在、国造柚子生産組合長を務め、2.5畝ある団地のうち20㍓を栽培中です。

手軽に作れるゆず味噌
おでんの上のせて



団地全体では一般的な大きさの「木頭」、小ぶりで種なしの「多田錦」の2品種約700本の木を管理しています。農薬・化学肥料を使わず、雑草防除は除草機と手作業で年に5回行うなど丹精込めて育てたゆずの味は格別です。収穫後の果皮や果汁は市内外の企業と協力し、お菓子をはじめとした食品からハンドクリームなどといった化粧品まで余すことなく加工されています。今後は後継者の育成や新たな商品開発に力を入れたいです。国造ゆずを絶やさず守りたいと思います。

沢野ごぼう

七尾市沢野町
前田 れい子さん (73歳)

2人3脚で続けています



▲収穫担当の夫義一さん（左）

沢野ごぼうの始まりは、約350年前です。粘土質の畑地で、力強く根を張るごぼうは通常よりも太く長く育ちます。柔らかく香り高いのが特徴で、江戸時代には献上品として扱われていたそうです。私は作り続けて55年になります。連作障害を避けるため、一度作った畑は3年休ませます。収穫は油圧ショベルである程度掘り進めてから手掘りです。1本当たりの重さは最大1.2キ、長いものでは1

れい子さん特製七日炊き
ピリ辛の唐辛子がアクセント



時間近く掛かることもあります。深く根を張っているのので、途中で折らないよう気を付けます。根気強く掘り、太く長いものが収穫できたときの喜びはとても大きいです。きんぴらやお吸い物にもいいですが、おすすめは郷土料理の「七日炊き」です。ぶつ切りのごぼうを水だけで一日炊いて、昆布や煮干し、醤油などで味つけます。味がしみ込んだごぼうは口に入れるとほどける柔らかさです。昔はいろりで七日炊いたことが由来ですが、今は3日ほどでも十分おいしく仕上がります。これからもできるだけ長く栽培を続け、地区の伝統野菜を大切にしていきたいです。

源助大根

金沢市打木町
松本 充明さん (52歳)

おでんや浅漬けにピッタリ



JA金沢市大根部会の打木源助大根部部長を務め、部会では4畝、個人では40㍓を栽培しています。源助大根は祖父が昭和17年に打木町で生み出し、平成9年には加賀野菜としてブランド認定されました。今日、金沢おでんなど冬の食卓には欠かせない野菜として需要が高まっています。ずんぐりとした円筒形で、肉質が柔らかく煮崩れしにくいのが特徴です。少しの衝撃でも割れやすく、割れてしまふと商品価値が下がるので収

しゃぶしゃぶにして
ポン酢でさっぱり



穫や洗浄、箱詰め、運搬の際には細心の注意が必要です。一度に多く施肥すると実が割れるため、追肥は基本的に少量多回数にしています。また、土が肥料を吸いやすい雨の前を避けるなど天候や生育の状況をこまめに見て施肥のタイミングを決めています。青首大根と比べて葉も柔らかく虫が付きやすいため、毎年地区で一斉防除を実施し、農薬の使用は最低限に留めています。天敵を避けるなど、おいしく育てるために生育環境のストレスはなるべく減らすことが大切です。販売促進にも力を入れており、今後は収量を増やし、より多くの人に味わってほしいです。近年は若い世代の作り手も増え頼もしく、地域の宝として作り継いでいきたいですね。

能登大納言

珠洲市石神町
豊平 慶二さん (68歳)



JAすずし能登大納言小豆部会の部会長を務め、栽培に使う指定種子の生産に取り組んでいます。現在奥能登一円で150戸の農家が70畝を栽培し、年間で平均30トを出荷しています。能登大納言小豆は昔から自家用として奥能登の各農家が作り継いできました。長年作られていくうちに、多くの系統に分化したものを一本化し、品質を安定させるため平成11年から奥能登地域の小豆を集め、研究機関や現地での種子選抜が始まりました。

ホクホクの粒大粒小豆で
食べ応えあり



粒の大きさ、色の良さ、収穫時期などさまざまな項目について優れている系統を選び、平成18年には種子生産に入り、平成20年に地域団体商標に登録され今日に至っています。「こしあんにするなんてばちが当たる」と言われるほど、ひときわ大きな粒と鮮やかな赤色が特徴です。炊いたときにふっくらと皮が柔らかく、食べても皮が口に残らず風味が良いため和菓子に最適です。家庭では赤飯にすると粒の食感が楽しめます。小豆づくりは特に天候に影響されやすく毎年同じパターンがありません。播種の時期や播種する場所を少しずつ変えるなど、自分なりに試行錯誤を繰り返して収量向上に努めています。

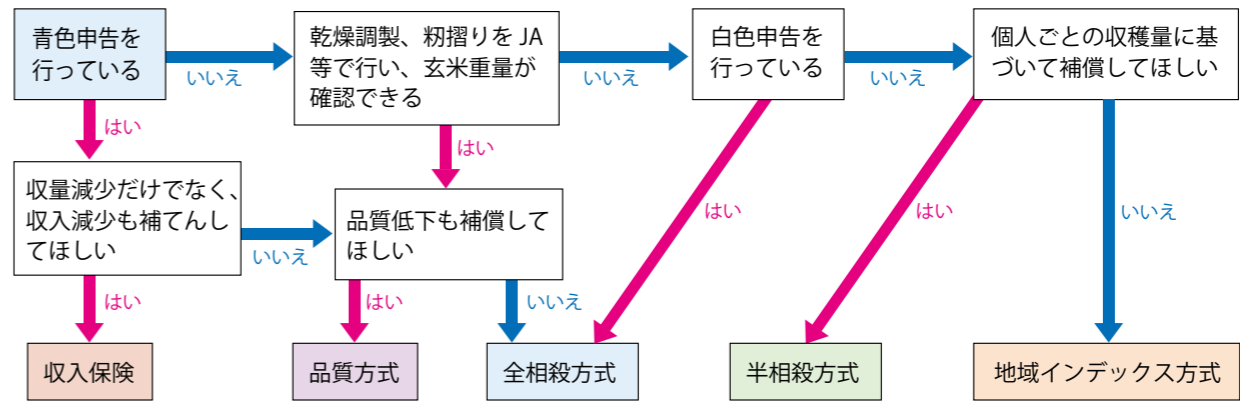


記録的な大雨や大型台風などが頻発しています。収入保険に加入されない方は水稲共済加入で自然災害に備えましょう。

▼土砂が流入した田んぼ



※スタート※



加入方式は4種類から選べます

おすすめ！
より明確な損害査定

全相殺方式

選択できる補償割合
9割、8割、7割

加入者ごとの基準収穫量に対して、引受耕地全体の減収量が1割(※)を超える場合に共済金を支払います。JA等に乾燥調製作業を全量依頼している方、又は青色申告者・白色申告者(確定申告関係書類を提出)が加入できます。

品質方式

選択できる補償割合
9割、8割、7割

当年産の収穫量が基準収穫量を下回り、かつ生産金額が基準生産金額の1割(※)を超えて減少した場合に共済金を支払います。自然災害による収量減少のほか、品質の低下による生産金額の減少も対象です。

半相殺方式

選択できる補償割合
8割、7割、6割

加入者ごとの基準収穫量に対して、被害耕地の減収量の合計が引受耕地全体の基準収穫量の1.5割(※)を超える場合に共済金を支払います。

地域インデックス方式

選択できる補償割合
9割、8割、7割

市町ごとの統計単収が、基準単収の1割(※)を超えて減収した場合に共済金を支払います。
(※)最高補償割合を選択した場合
一筆半損特約付加で安心!
耕地ごとに、収穫量に5割以上の減収が認められる場合(全損を除く)に、基準収穫量の2割分を共済金として支払います。

「水稲共済加入申込書兼変更届出書」の提出をお願いします。

記入いただく際は、次の事項に注意してください。

- ① 氏名横の押印
 - ② 水稲共済加入の選択
 - ③ 加入方式・補償割合・一筆半損特約の有無等の選択
- (下記①②③参照)

米政策関連の様式と一体化になっています

「水稲共済加入申込書兼変更届出書」は、需要に応じた米生産の推進及び経営安定所得対策の実施に必要な水稲生産実施計画書等と一体化様式となっています。水稲共済の加入・未加入にかかわらず、必ず内容を確認して提出してください。

加入申込み期間
令和5年
2月10日～4月10日

記入上の注意

加入方式	補償割合(割)	類区分	一筆半損特約(有無)	付保割合(%)	キログラム当たり共済金額の選択順位
半相殺	8	1	有		1
半相殺	6	2	有		8

内容を変更する場合、または新たに加入する場合は、該当する類区分の各欄に加入方式、補償割合、一筆半損特約の有無を記入してください。ただし、飼料用米は地域インデックス方式に加入できません

前年度の加入状況が印字されています。内容を変更する場合は該当箇所を二重線で消し、その点線上余白に変更内容を記入してください。また、新たに水稲共済に加入する場合は必要項目を全て記入してください。

水稲共済に加入しない場合は、二重線で消してください。水稲、麦の耕作面積の合計が10a未満の場合は加入できません

水稲共済加入の選択

前年度加入の場合に下欄に「加入」と印字されています。今年度加入しない場合は「加入」を二重線で消してください。

加入

前年度加入状況が印字されています

農業者氏名

4枚とも押印してください

令和5年度(産)水稲生産実施計画及び作付面積確認依頼書兼水稲共済加入申込書兼変更届出書

この用紙は「ノーカー」ボンの別紙の記入の仕方をよく読んでください。

1 氏名横の押印

2 加入方式・補償割合・一筆半損特約の有無等の選択

3 加入方式・補償割合・一筆半損特約の有無等の選択

収入保険が収入減をサポート 加入者の声

分かりやすさが決め手

当園では無袋栽培を採用しており、太陽の光をいっぱい浴びて育った糖度の高いリンゴが売りです。
 収量を安定させるため、定期的な樹の植え替えや枝を伸ばすことを意識しています。害虫を誘引する夜蛾灯の設置など、防除も欠かせません。
 収入保険には令和元年から加入しています。従来の果樹共済と比べると、自身の過去5年間の収入を基準として補償が決まり、分かりやすいこ



の とじまべつしよまち
七尾市能登島別所町
野口りんご園代表
の ぐち かず ふみ
野口 一文さん (65歳)

とが魅力です。

予測できない災害に備えを

自然災害はいつ起こるか分かりません。過去に収穫前のリンゴが台風による暴風で落下し、全滅したショックは忘れられないです。特に近年は異常気象による農作物の被害が頻発しています。収入が減ったときでも補償があると思うと安心です。

◆経営内容
りんご80畝、水稲2、7畝

安心して規模拡大

水稲は作付面積の一部を乾田直播にし、コスト削減に取り組んでいます。汎用の機械を使うため、麦と大豆専用の機械が必要なくなり、約3割のコスト減を実現しました。開始当初は収穫にばらつきがありました。今は安定している。今後、続けたいです。
 収入保険には令和3年から加入しています。加入の決め手は市場価格の下落など経営努力では補えない収入減少が補償される点、農業者負担額がナラシ対策と変わらない点

万が一の収入減少を補償

令和3年はコロナ禍で米価が下落し収入減となりました。昨年は猛暑日が続く、雨量も少なかったため収量が予測しづらかったです。万が一の時に補償があるのは大変助かります。
 今後は100畝まで拡大してメガファームを目指したいです。経営面積を拡大していく人は早めの収入保険加入をおすすめします。

◆経営内容
水稲53畝、麦5畝、大豆16畝、ネギ50畝



ふくしんまち
白山市福新町
株式会社 あぐり一石
代表取締役
の につ た よし のり
新田 義宣さん (62歳)

収入保険



加入対象は青色申告をしている方です

収入保険ご加入の皆さんへ



業務1課 中井

お支払いする保険金等は保険期間の雑収入として計上します。

◆受付期間◆

事業年度開始が2月以降の法人農業者の新規加入申請を付けています。

事業年度開始月の前月まで

- 青色申告をしている農業者が対象
- すべての農産物が対象
- 農業収入の減少を総合的に補てん

加入申請手続きの必要書類 (法人の場合)

- ① 法人税の確定申告書の別表1及び別表4
- ② 損益計算書
- ③ 過去実績がわかるもの
 A: 収穫量、作付面積、販売金額、販売数量
 B: 精算金、棚卸し、事業消費の内訳、数量払い

※各書類は平成30年〜令和3年の4年分をご用意ください。(過去実績が4年分ない場合は直近のものすべて)

青色申告の主なメリット

- ① 最高で55万円の特別控除 (e-Taxなら65万円)
- ② 専従者給与を必要経費に算入
- ③ 赤字の繰越しや繰戻しが可能

☆詳しくは、国税庁のホームページ等を参照してください。



青色申告を始めるには

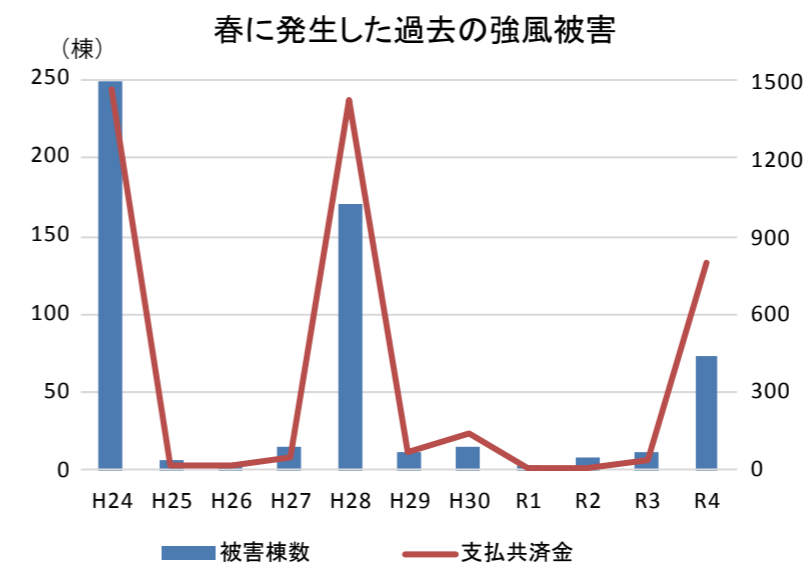
令和5年3月15日までに「青色申告承認申請書」を納税地の所轄税務署長にご提出ください

令和5年分から青色申告

収入保険には令和7年から加入できます



日本に寒気が流れ込みやすい状況を作るラニーニャ現象が発生しており、日本海側では大雪や突風が予想されています。また、育苗ハウスの被覆を始める春先は、冷たい冬の空気と暖かい春の空気がおつかり、急速に発達した「爆弾低気圧」が暴風や突風をもたらすこともあります。予測できない自然災害に備えるため、園芸施設共済への加入がおすすめです。



落雷には3つの種類



[逆流雷サージ] 落雷時、他の建物の避雷針などから地中に流れた電流を、接地(アース)から吸い込んでしまう現象。

[誘導雷サージ] 周辺樹木や地面に落雷した場合、その周辺にも高い電圧が発生。その電流が近くの電柱や電話線を伝って建物の中に侵入する現象。

[直撃雷サージ] 電線や通信ケーブル、テレビのアンテナなどに直接落雷した場合、雷の電気が、その電線などを伝って建物の中に侵入する現象。

威力は夏の100倍

冬季の雷は夏季に比べ予測が難しいです。日本海側では昼夜問わず常に発雷する可能性が高く、一発の威力は夏季に比べ100倍のエネルギーを持つ電流だと言われています。

冬の落雷に用心

建物共済 住まいる

家庭での落雷対策

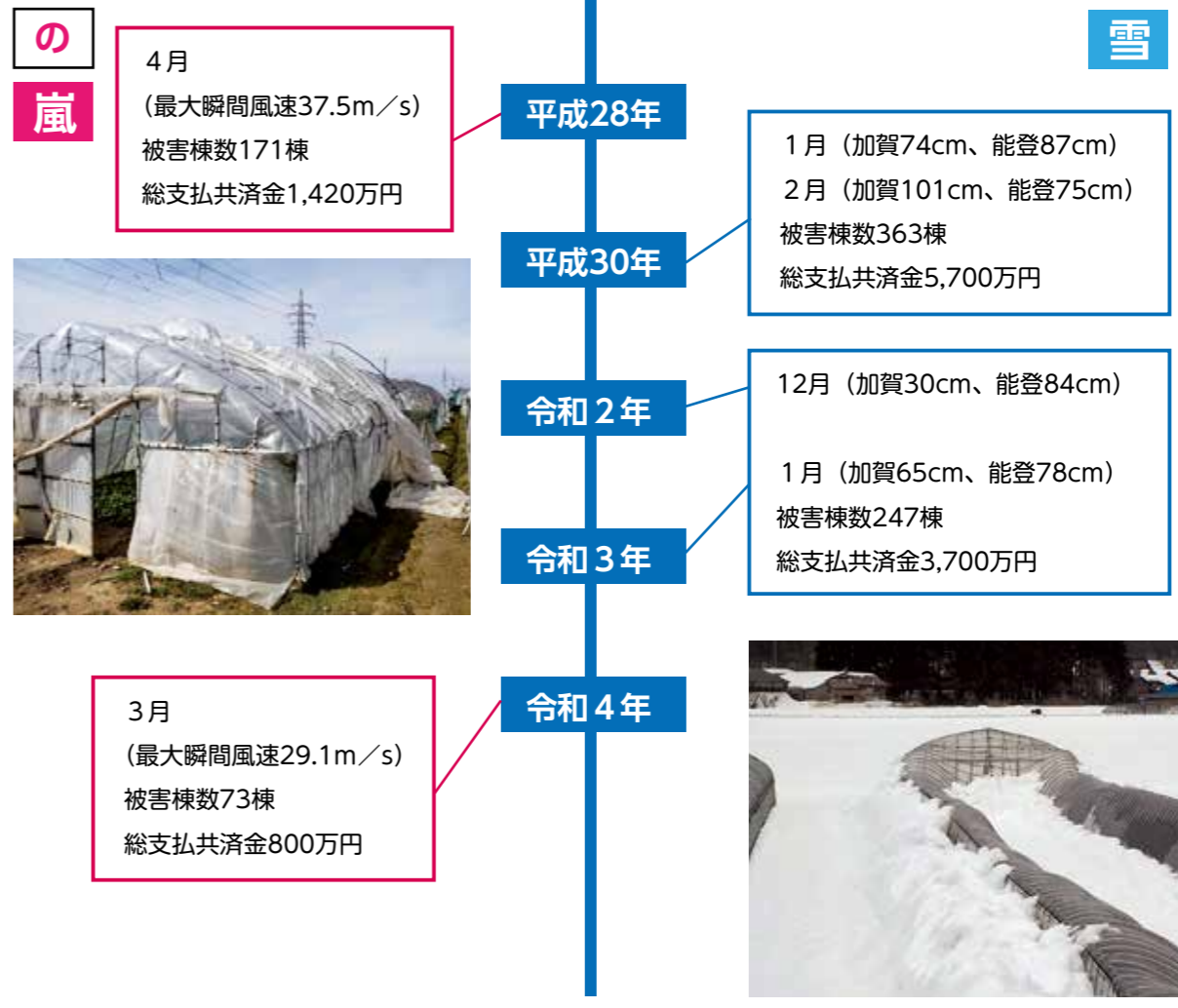
- ◆電化製品の使用後は電源プラグをコンセントから抜きましょう
- ※雷が鳴っている最中に抜くと、落雷時に感電する恐れがあります
- ◆電源プラグをコンセントに常時差ししておく場合、雷ガードの電源タップを使用しましょう
- ◆電源プラグやコンセント周りに付着したほこりは発火の原因となるので取り除きましょう

被害に遭ったときは

落雷後に、テレビやエアコンの電源が入らないなど被害を受けたと思われる場合、電源プラグが入ったままのその他の電化製品の作動状況もくまなく確認してください。

作動しないことが確認されたら、建物共済に加入している方はNOSAIへご連絡をお願いします。

石川県内における園芸施設共済の支払状況



【掛金等の目安】 新品のパイプハウス 1㎡あたり 117円 (通年被覆)

総合共済掛金表

共済金額1,000万円当たりの共済掛金(年額)

用途	構造	基本(特約なし)
普通物件 住宅、納屋、物置、土蔵、農作業場、車庫など	一般造	24,400円
	耐火造B	22,400円
	耐火造A	20,800円
特殊物件一般 併用住宅、店舗、事務所、作業場、寺院、神社など	一般造	28,500円
	耐火造B	24,200円
	耐火造A	20,900円
特殊物件割増 飲食店、製材所、加工場など	一般造	44,700円
	耐火造B	31,000円
	耐火造A	22,600円

特約をプラスすることもできます。あなたに合った加入プランを見つけましょう。

業務2課 軽海

自然災害なら総合共済
火災共済では、落雷は補償の対象となりませんが、自然災害は対象となります。昨年県内を襲った地震や豪雨のほか、近年は暴風やドカ雪の被害が多くなっています。総合共済へのご加入は皆さまの安心な暮らしをサポートいたします。

詳しくはNOSAIにお問い合わせください

新鮮野菜と農家の 家庭料理を届けたい



「畑の子」は昨年3月に開店し農業法人アグリスターオナガのお米と採れたての野菜を使用した弁当販売のほか、日替わりランチプレートや夜のコース料理などを提供している。

代表の田中ありささん（28）は、羽咋市の農業法人アグリスターオナガの代表の実娘。東京で就職後、結婚し、親となり「農家の食の豊かさ」と「食の大切さ」を再認識した。店を切り盛りする母の濱田友紀さんとともに「農家の家庭料理と新鮮な野菜のおいしさを多くの人に味わってもらいたい」と張り切っている。

店では、アグリスターオナガの朝採れ野菜をはじめとした県内産の野菜や加工品も販売。野菜の調理方法を聞いたり、店で食べた野菜を買ったりする客も多い。二人は「県内産の農産物のアンテナショップとして、県内農家を応援する店でありたい」と話す。

金沢市本多町 家庭料理と野菜マルシェ「畑の子」



▲みずみずしい新鮮野菜と彩り豊かなお弁当をおすすめする田中ありささん（右）と母の濱田友紀さん

店舗情報 定休日 日・月曜日

伝統の加賀丸いも作り

「能美といえば加賀丸いも。伝統の名産品を守っていききたい」と話す近藤さんは品質向上に余念がない。粘土質の土に砂が適度に混ざった水はけの良いほ場を選び、畝立ての際には土をしつかりと乾かす。濡れていると土の間に隙間が生じ、根を張りにくくなるからだ。また、連作障害を避けるため毎年ほ場を入れ替えている。

収穫は毎年11月頃からスタート。取り終えると一つ一つ手作業でひげを取り除く。お歳暮のシーズンに合わせて出荷するため作業は急ピッチで進められる。「丸いもは土の中で育つため、生育の過程がわからない。収穫して形が丸く大きいものがあると喜びもひとしお」と近藤さんは笑顔だ。

収入保険には令和2年から加入している。これまで、丸いもの保険がないことに不安を感じていた。特に近年頻発する豪雨災害に備えておきたかったという。

「収入保険の加入で安心を得られた。今後とも隣の農家とこまめに情報交換をし、栽培方法や防除に改良を加え、栽培を続けたい」と近藤さんは熱く話す。

◆加賀丸いも、タマネギ計1.6畝

能美市粟生町 近藤 拓郎さん（32歳）



▲収穫した丸いもを手に近藤さん

金沢市東原町 304水芭蕉会会長 森 潔さん（75歳）

活気あふれる朝市を開催

「お客さん同士の会話も朝市の楽しさの一つ」と話す森さん。304水芭蕉会は金沢市東原町の304号線沿いで朝市を運営。新鮮な地元野菜や手作りの加工品などを提供し好評を得ている。

同会は平成8年から朝市を開き、20人弱の地元農家が出品している。平成18年に森さんが会長に就任。新たな取り組みとして、生産者が衛生管理講習を受講し、加工品の販売を始めたところ、販売品の規模が徐々に大きくなったという。

会員とお客が互いにレシピを紹介し合うなどコミュニティツールにもなっている。朝市を手伝う地元の高校生は「毎週とても賑やかな朝市」と話す。

森さんは「活気ある朝市を続けるためにも、若い人に来てもらい後継者になってほしい」と期待を寄せる。



▲朝市の様子

開催期間 6月の第二日曜日から12月の第三日曜日までの毎週日曜日

野々市市藤平 株式会社林農産 代表取締役社長 林 浩陽さん（62歳）



チャンネル登録をお願いします



▲撮影中の林さん

人気農チューバー 動画は作業改善にも

林さんは平成28年から動画投稿サイトYouTubeで「林さんのゆかいな米作り」というチャンネルを開設。登録者数は2万6000人を超え、年間600万視聴を数える人気農チューバーとして活躍中だ。

投稿内容は毎日の農作業がメイン。1日撮影し、30分前後の動画に編集してアップロードしている。林さんは「編集作業には3時間かかることもあり、大変に思うこともあるが、1日の振り返りを兼ねて頑張っている」と話す。

視聴者の多くが同業者という同チャンネル。自らの農作業をオープン・シェアすることで、田植えや刈り取り、ハウスの張替え作業などについてアドバイスを多くもらい、作業を大幅に改善できたという。「農業は地域ごとに独自性がある。農チューバーの活動を通じて多様なやり方を学べるのが魅力」と林さんは笑顔だ。

◆水稻、大豆合わせて49.7畝、米加工品販売



12月から3月までのうごき

- 12月29日～1月3日
年末年始休業
- 1月4日
収入保険
農業収入金額実績申請書兼
保険金等請求開始(法人)
- 1月
損害評価会 果樹共済部会
- 1月31日
第5回理事会
- 2月1日
果樹共済加入申し込み開始
- 2月10日
水稲共済加入申し込み開始
- 2月
収入保険
農業収入金額実績申請書兼
保険金等請求開始(個人)
- 3月
損害評価会 畑作物共済部会
(全相殺方式)
- 3月
理事会

ニーズ調査実施中

共済対象品目のうち、現在石川県で実施されている品目(左記参照)について、加入希望がありましたら、組合までご連絡ください。ばれいしよ、小豆、そば、スイートコーン、たまねぎ、かぼちゃ、茶など

口座振替のお願い

コンプライアンスに沿った対策及び組合員の利便性向上を図る観点から、集金業務を原則廃止します。お早めに口座振替依頼書の提出をお願いします。

口座振替依頼書提出の留意点

- 掛金等納入期限のおおむね2カ月前までに提出してください
- 届出印、口座名義フリガナの間違いはないかご確認ください
- J A口座とその他の金融機関では振替依頼書が異なりますので、ご注意ください

共済金を支払いました

水稲 被害概況 豪雨のため、河川の護岸決壊等により圃場の浸水・冠水および土砂流木等の流入被害や潮位の上昇で排水溝から海水の侵入被害が見られ、イノシシ等による踏み荒らしや食害も発生しました。また、台風の接近に伴うフェーン現象により品質低下となりました。

加入方式	半相殺方式	全相殺方式	品質方式
支払日	12月7日	12月7日	12月7日
支払戸数(戸)	214戸	12戸	12戸
支払共済金(円)	29,921,850円	4,666,815円	3,027,263円

麦 被害概況 播種後の降雨により、一部圃場で土壌湿潤害による発芽不良や生育不良となり減収しました。また、強風と降雨で倒伏となり減収となりました。

加入方式	半相殺方式	災害収入共済方式
支払日	9月5日	12月7日
支払戸数(戸)	1戸	22戸
支払共済金(円)	158,599円	2,715,755円

交代時にご連絡ください

集落での役員交代に伴い、NOSAI部長や損害評価員が変更になる場合は、管轄のグループへご連絡ください。

令和5年1月20日締切

損害防止事業 機器購入経費の一部を助成します

この助成は農作物共済及び畑作物共済事業の健全な運営を図ることを目的としています。

交付対象者は

令和4年産農作物共済または畑作物共済加入者 農業共済資格団体においては、当該団体の構成員(団体名簿を添付)も含みます。組合員のうち法人においては、当該法人代表者のみとします。

平成31年1月1日から令和4年12月31日までに収入保険に移行した農作物共済または畑作物共済加入者も対象です。

交付申請をするときは

1台ごとの型式及び購入額が明記されている領収書(写し)等または購入を証明できるものを添付し、管轄のグループにお問い合わせの上「交付申請書」に必要事項を記入し、提出してください。

お便りコーナー

2020年に体調不良で稲刈ができず、収入減になりましたが収入保険で大変助かりました。友人にも加入を勧めています。(白山市 Sさん)

農業に生きがいを感じ、県内でがんばっている人達のことが顔写真とともに掲載されているので、リアルに伝わります。皆さんとても良い顔で頼もしいです。(志賀町 Nさん)

イノシシなどによる獣害や地震・大雨といった災害など自然相手に大変です。秋号の無人直売所「なたち ちょっこし村」が気になり寄ってみたいです。(珠洲市 Kさん)

皆さんからの声募集します

NOSAIや広報紙へのご意見、その他にも身近な話題や農業について思うことなどありましたらお聞かせください。お寄せいただいたコメントはお便りコーナーで紹介させていただきますことがあります。

交付対象機器 令和4年1月1日から同年12月31日までの間に購入した以下の機器

①背負式動力散布機・背負式動力噴霧機

1台あたり購入額の10分の1、または1万円のいずれか少ない額を交付します。1台あたり購入額：4万円以上に限る

③農薬散布ドローン

1台あたり購入額の10分の1、または7万円のいずれか少ない額を交付します。1台あたり購入額：40万円以上に限る

②動力噴霧機(器)

1台あたり購入額の10分の1、または4万円のいずれか少ない額を交付します。1台あたり購入額：20万円以上に限る

④水田乗用管理機(ブームスプレーヤ)・産業用無人ヘリコプター(本体のみ)

1台あたり購入額の10分の1、または10万円のいずれか少ない額を交付します。1台あたり購入額：50万円以上に限る

*ただし、組合員のうち法人においては、当該法人名義で購入した機器に限ります

石川県農業共済組合

■ 本 所 ■

〒920-0007
 金沢市田中町か 26 番地 1
 TEL 076-239-3111 (代)
 FAX 076-239-0069
 Eメール
 kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

NOSAI石川
 ホームページ

NOSAI石川
 Facebook



各グループのお問い合わせ先は
 こちら

【本所別館】

〒920-0007
 金沢市田中町か 12 番地 1

加賀・能美グループ
 TEL 076-239-2355
 (加賀市・能美市・川北町)

小松グループ
 TEL 076-239-2355
 (小松市)

白山・野々市グループ
 TEL 076-239-2555
 (白山市・野々市市)

金沢・河北グループ
 TEL 076-239-2555
 (金沢市・かほく市
 津幡町・内灘町)

羽咋グループ
 TEL 076-239-2455
 (羽咋市・志賀町
 宝達志水町)

七尾・鹿島グループ
 TEL 076-239-2455
 (七尾市・中能登町)

【奥能登支所】

〒928-0313
 鳳珠郡能登町字天坂に 1 番地 1

奥能登グループ
 TEL 0768-76-2251
 (輪島市・珠洲市・穴水町・能登町)

NOSAI石川広報紙「虹」
 新年号 vol.32
 2023年1月発行

田植えはみんなで楽しく
 社会人4年目です。昨年4月に部署異動があり、忙しくも充実した毎日です。休日はショッピングなどを楽しまます。農作業には楽しいイメージがあります。家の田植えは親戚が集まる年中行事となっていて、みんなでワイワイと行っています。



小松市
 はやし ゆうか
林 祐花さん (23歳)

きらきらひかる

—えがお輝く石川の星—



能登町
 ただ まゆみ
多田 真由美さん (23歳)

地域を盛り上げたい
 父が始めた「農家民宿春蘭の里」を引き継ぎ、恵まれた自然環境や地元産食材など多くの魅力に囲まれて仕事をしています。地域活性化のため、観光客や移住者を増やすことを目標に父が築きあげてきた事業をさらに盛り上げられるよう頑張ります。

31号クイズ
 当選者(敬称略)

● 締め切り / 1月20日(金) 必着 ●

上尾 春代 藤田 俊信
 長永 一子 福田 景子
 宿谷 博

63 920-0007
 金沢市田中町
 か26番地1
 NOSAI石川
 クイズ係行

クイズの答え
 ・郵便番号・住所
 ・氏名・年齢・電話番号
 ・NOSAIへの意見
 ・広報紙のご感想など

おもち

ひら

FAX 076-239-0069
 Eメール kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

応募方法
 クイズの答えと必要事項を明記してハガキ・FAXまたはEメールでご応募ください。正解者の中から抽選で、5名の方に図書カードを進呈いたします。当選者は氏名のみ次号に掲載させていただきます。

NOSAIクイズ
 NOSAIキヤッチフレーズは
 OOOOをまこう。
 Oに入る文字をお答えください。 ヒント表紙へ